

認知機能の低下防ぐ

見守りだけではな「入浴拒否」など、被
く、今後はさらに認知 介護者との関わりにお
機能の維持や低下予防 いてよくある状況をV
につながる製品やサー Rで再現し、適切な対
ビスの充実が期待され 応の仕方を学べる。
ケアブルは介護スタ

ジョリーグッド（東 ツフの訓練だけではな
京都中央区）は介護ス く、認知症患者にも使
タッフ向けに仮想現実 用できることが大きな
（VR）で研修やシミ 特徴の一つだ。全国の
ュレーションができる 観光地やレジャーのV
サービス「ケアブル」 R映像を見ることが過
を手がける。認知患者 去の記憶を思い出すき
者による「帰宅願望」 っかけをつくり、思い

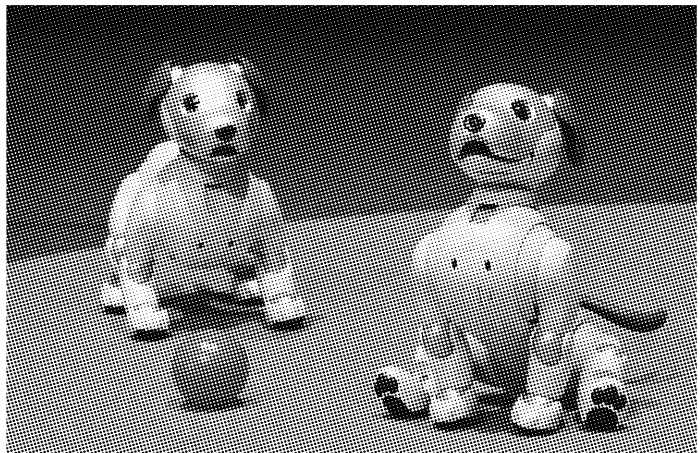


全国の観光地やレジャーのVRで認知症
患者の「回想法リハビリ」が可能

VR活用「回想法リハビリ」

出を介護スタッフと話
すことで認知症の予防
や進行を遅らせる「回
想法リハビリテーショ
ン」に利用できる。

認知機能の維持・低
下予防では、ロボット
も注目の領域だ。日本
の企業が得意とするコ
ミュニケーション型ロ
ボの癒やしの効果や対
話、交流などを活性化
させる効果が、認知症
患者にも有効だと期待
されている。東京都渋
谷区は6月、日本認知
症予防学会、ソニーと
認知症に関して協定を
結んだ。ソニーのイヌで



渋谷区は認知症対策でソニーのaiboを活用

型ロボット「aibo 見守りサービスや人し、ビッグデータ（大
（アイボ）」を認知症 工知能（AI）を搭載 量データ）として解析
対策に活用したい考え したコミュニケーション することが「共生」
だ。その他、コミュニケ ン型ロボなどの利用が 「予防」に対して有効
ーション型ロボを導入 広げれば、次に重要に な次の製品・サービス
する介護施設や高齢者 なるのがデータの活用 を生み出すことにつな
向け施設は全国で増え だ。認知症患者のさま がる。

ロボと対話・交流 癒やし・活性化効果

さまざまなデータを収集